

三陸文化復興プロジェクト 献本活動

このたびの東日本大震災においては、多くの村や町が想像を絶する被害を蒙りました。とりわけ遠野との関わりが深い三陸海岸の村や町が、大津波に呑み込まれ、たくさんの犠牲者を出しました。それぞれの地域に大切に受け継がれてきた歴史や文化もまた、大きな被災を受けています。いま、亡くなられた方々に向けての鎮魂と供養をおこないながら、ようやく復興と再生へのぼるかな道行きが始まろうとしています。あらたな地域に生きる絆を結びなおすためには、地域文化の復興を欠かすことができません。だから、三陸の文化復興支援が求められているのです。遠野がそのために力を尽くして働くのです。それを、わたしたちは遠野文化研究センターのはじまりの仕事と位置づけました。たくさんの志をともにする方々にたいして、それぞれに可能な形での参加を呼びかけます。

2011年6月12日 遠野文化研究センター所長 赤坂憲雄

遠野に
本が集まる

分類・登録
保管

被災地の
学校図書室
公立図書館へ

本の募集

1 本の種類

文学・歴史・自然科学・フィクション・ノンフィクションなどすべての分野の図書を募集します。新品・中古は問いませんが、被災地に贈るものですので、なるべく状態のよい本をお願いします。

なお、以下のものは対象外といたします。

- × 雑誌、新聞、漫画、文庫、教科書
- × 図書館にふさわしくないもの
- × 落書き・破損・シミやカビ等汚れがあるもの

2 宛て先

「遠野文化研究センター 三陸文化復興プロジェクト係
(遠野市立図書館内)」

- ※ 住所は下記お問い合わせ先に記載しております。
- ※ お送りいただく際の送料はご負担くださいますようお願いいたします。

支援金のお願い

入手できなかった本、書棚など図書館用備品、ラベルなどの図書整理用品などの購入にあてるため、支援金を募ります。ご支援いただける方は下記の宛先へお振込みください。

【岩手銀行】 遠野支店 普通口座
口座番号：2044244
口座名：遠野文化研究センター

【ゆうちょ銀行】
記号番号：18360 - 8237121
口座名：遠野文化研究センター

- ※ お振込みの際の手数料は、ご負担くださいますようお願いいたします。
- ※ この支援金は寄付金控除の対象とはなりません。

●お問い合わせ先

遠野文化研究センター

〒028-0515 岩手県遠野市東館町 3-9 TEL : 0198-62-2340 FAX : 0198-62-5758 E-mail : tono100@city.tono.iwate.jp

遠野文化研究センター事業について

1 文化による復興支援活動 「三陸文化復興プロジェクト」

(1) 文化財

- ① 現地調査を行い、文化財の現状を把握
- ② 救出が必要な文化財を安全な場所へ運搬し保管
- ③ 被災した文化財のクリーニングや保存処理

(2) 博物館資料

- ① 現地調査を行い、博物館資料の現状を把握
- ② 救出が必要な博物館資料を安全な場所へ運搬し保管
- ③ 被災した資料のクリーニングや保存処理

(3) 図書館資料

- ① 現地調査を行い、図書や文献資料の現状を把握
- ② 遠野で所有している沿岸地域関連図書や文献資料を複製し、寄贈
- ③ 古書店で市場に出ている沿岸地域関連の文献資料を調査・収集し、寄贈

(4) 講演会等の開催

沿岸地域の求めに応じて、講話や昔話、朗読、音楽、郷土芸能等に親しむ会を開催し、被災した人々の心の潤いや元気を取り戻すための支援を行う。

(5) 被災地の図書館のために全国に「献本」と「募金」を呼びかける。 別紙チラシの通り

(6) 「災害に関する研究拠点」の誘致

- ① (仮称)「東北災害アーカイブセンター」を遠野に誘致する(赤坂所長提案)
- ② 例えば、仙台に「本館」、岩手(遠野)と福島に分館を置く。

(7) (仮称)「文化による復興ネットワーク」づくり

主に岩手県内で文化による復興支援関係者によるネットワークづくりをして、研修、意見交換しながら、復興支援活動を進める。

2 「文化による復興支援シンポジウム」事業 別紙チラシの通り

3 遠野文化賞の創設

- (1) 目的：遠野を文化によって「元気」にした個人・団体に対し「遠野文化賞」を授与する。
本賞受賞者には、遠野産材で制作した表彰盾と賞金50万円を授与する。
「奨励賞」は、主に国内外の若手研究者を対象とし、遠野産材の盾と賞金10万円を授与する。
- (2) 選考委員会：所長及び顧問(4人)で構成する。開催期日：平成23年9月頃を予定
- (3) 表彰式 開催期日：平成23年11月3日(木・祝)予定

4 映像アーカイブ事業 ～1枚の写真と小さな物語プロジェクト～

- (1) 目的：市民や遠野出身者等が所蔵する写真や映像を調査・収集しデジタル化して保存する。
- (2) 内容：画像から遠野の民俗や歴史などを解明し、教育普及や情報発信に活用する。
また、文化による復興支援に関連して「三陸地区の映像資料」も収集する。

5 遠野文化フォーラム開催

- (1) 目的：センターの研究成果を発表する場として、また研究員の特別講義等を行う機会として毎年1回フォーラムを開催。さらには、文化の交流や経済の活性化にも貢献するものとする。
- (2) 開催期日：H23年11月3日(木・祝) *毎年「文化の日」に開催する。

6 遠野文化友の会の設立運営

- (1) 目的：同センターの円滑な運営と積極的な情報発信を進めるため、友の会を設立する。

- (2) 会費：年会費として「個人3千円」「法人1万円」とする。
- (3) 特典：出版物を年数回発行し、会員には無償で送付する。
会員証を発行して、会員証提示により博物館等施設を無料入場できるものとする。
- (4) 募集開始：平成23年10月
- (5) 会員広報誌「まよいが」配布：平成23年11月

7 出版事業

- (1) 出版物：「遠野学」年1回発行：H24年3月15日発行目標5000部
テーマ「災害と文化復興」
会員広報誌：名称：「まよいが」、第1号タイトル：「まよいがへようこそ」
発行時期(年2回)：5月、11月 (H23年度は1回のみ発行)

8 遠野学検定事業

- (1) 目的：できるだけ多くの人に「遠野」への関心と知識を持ってもらうため、年に1,2回「遠野学検定」を実施する。
- (2) 時期：H23年度準備開始、H24年度検定開始、テキスト作成(始めは「初級編」から開始)

9 柳田國男没後50年事業

- (1) 時期：平成24年11月3日(土・祝) *「遠野文化フォーラム」と同時開催
- (2) 内容：「遠野学に関わる国際シンポジウム」
ロナルド・A・モース先生の基調講演、欧米の柳田國男関係論文の和訳出版事業等

10 遠野民俗誌事業

- (1) 内容：遠野の民俗文化を調査研究し、「民俗誌」としてとりまとめ出版する。
- (2) 時期：H23調査研究開始(5年後をめどに発刊)

11 遠野「語り部」1000人プロジェクト事業 (継続事業)

- (1) 平成22年度は市が事業主体となり実施し、H21、22合計466人の「語り部」を認定。
- (2) 平成23年度の具体的取り組み方針と目標
 - ① 目的：「ひとづくり」や「まちの活性化」のための事業として本事業を継続実施し、「語り部」1000人認定の目標達成を目指す。
 - ② 内容：修学旅行など新たなツアー商品の企画開発につなげる。文化研究センターにコーディネート機能を持たせて、有料で「語り部」供給できるようにする。
 - ③ 時期：H23：システム構築、「語り部」の育成・研修をする。
H24：「観光地域づくりプラットフォーム」に「語り部」を供給する。

12 文化活動支援事業 (継続事業)

- (1) 内容：市民、団体等への研究指導及び遠野の文化を活かした活動支援(市民協働事業含)
- (2) 補助：市民団体等の活動には「みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金」を活用。

13 市民講座事業 (継続事業)

- (1) テーマを広く「遠野の文化」に設定して開催する。
- (2) 所長講話をメインとした講座に加えて、各地区センターと連携した講座も引き続き継続して開催する。
- (3) 「民俗学」に限定せず幅広い分野の講師を招いて「多様な文化」を学ぶ講座とする。

14 FM岩手遠野支局・ズモナFM事業 (継続事業)

- (1) 開設期間：H23年4月～9月まで
- (2) H22年度事業の継続実施、文化研究センターの活動を広く情報発信する。

遠野文化研究センター・文化財レスキュー活動報告 (平成23年 6月12日現在)

NO	期日	場所	派遣数	協力機関	内容
1	4月12日(火)	陸前高田市海と貝のミュージアム 陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	海と貝のミュージアムに残存した貝類標本レスキューと搬出、陸前高田市立博物館レスキュー協議
2	4月21日(木)	陸前高田市立博物館 陸前高田市埋蔵文化財分室	3名	岩手県教育委員会 県内教育委員会	ガレキ撤去、収蔵庫、展示室資料のレスキュー
3	4月22日(金)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	ガレキ撤去、収蔵庫、展示室資料のレスキュー
4	4月23日(土)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	ガレキ撤去、収蔵庫、展示室資料のレスキュー
5	4月27日(水)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	ガレキ撤去、収蔵庫、展示室資料のレスキュー
6	4月28日(木)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	ガレキ撤去、収蔵庫、展示室資料のレスキュー
7	4月30日(土)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	ガレキ撤去、収蔵庫、展示室資料のレスキュー
8	5月1日(日)	鳥羽源蔵の生家と蔵(陸前高田市)	1名	陸前高田市	津波で流失した鳥羽源蔵の生家と蔵から文献、書簡、標本類レスキューと搬出
9	5月7日(土)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	収蔵庫、展示室資料のレスキューと生出小学校に搬出
10	5月8日(日)	陸前高田市立博物館	1名	岩手県立博物館	資料の防カビ乾燥応急処置
11	5月12日(木)	陸前高田市立博物館	1名	陸前高田市 岩手県立博物館	収蔵庫、展示室資料のレスキューと生出小学校に搬出
12	5月13日(金)	大槌町立図書館 陸前高田市埋蔵文化財分室	8名	陸前高田市 岩手県立博物館	大槌町立図書館レスキュー下見と埋文分室レスキュー
13	5月17日(火) ~19日(木)	大槌町立図書館	6名	大槌町	閉架収蔵庫の郷土資料のレスキューと搬出
14	5月24日(火) ~27日(金)	陸前高田市立博物館 生出小学校	6名	陸前高田市	レスキューした資料の搬出とクリーニング
15	5月28日(土) ~29日(日)	陸前高田市海と貝のミュージアム	2名	国立科学博物館 岩手県立博物館	ツチクジラ剥製標本のレスキュー
16	6月2日(木)	陸前高田市立博物館、 生出小学校	1名	陸前高田市 岩手県教育委員会	陸前高田市の依頼により文化庁の民俗文化財被災視察の対応
17	6月4日(土)	陸前高田市立博物館 生出小学校	3名	陸前高田市 岩手県教育委員会	郷土資料、民俗資料レスキュー
18	6月5日(月)	陸前高田市立博物館 生出小学校	1名	陸前高田市 岩手県教育委員会	郷土資料、民俗資料レスキュー
19	6月8日(水)	釜石市役所第1庁舎	3名	釜石市	行政文書
20	6月9日(木)	釜石市役所第1庁舎	2名	釜石市	行政文書
21	6月10日(金)	旧釜石一中	2名	釜石市	行政文書